



2024年6月3日



## PPAモデルによる太陽光発電設備 株式会社プロセス・ラボ・ミクロンに導入 CO<sub>2</sub>排出量を年間約80 t 削減

竹田iPホールディングス株式会社(本社:愛知県名古屋市 代表取締役社長:木全 幸治)の100%子会社である株式会社プロセス・ラボ・ミクロン(本社:埼玉県川越市 代表取締役社長:木全 幸治)は川越テクノロジーセンターに、オンサイトPPAモデル<sup>\*1</sup>による自家消費型の太陽光発電設備を導入し、設置稼働いたしましたことをごお知らせいたします。

プロセス・ラボ・ミクロンと導入契約を締結した株式会社TGパワー(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長:重村庸介)が、プロセス・ラボ・ミクロン川越 テクノロジーセンターの屋根に設備容量約DC198kWの太陽光パネルを設置し太陽光により発電したグリーン電力の全量を、プロセス・ラボ・ミクロンがメタルマスク製造など工場の運営に活用し、電力使用量に応じた料金をTGパワーに支払うという仕組みです。

これにより、電力由来のCO<sub>2</sub>排出量を年間約80t削減できる見込みです。CO<sub>2</sub>削減量を杉の木が1年間に吸収する量に換算すると、約5,700本分に相当します(杉の木1本で年間14kgのCO<sub>2</sub>を吸収)。当社グループ会社の事業所に再エネ発電が導入されるのは2例目となります。

<sup>\*1</sup> PPA(Power Purchase Agreement)モデル:発電事業者が需要家の敷地内に太陽光発電設備を設置し、そこで発電された電力を需要家に供給する事業モデル

### 導入設備概要

設置場所	株式会社プロセス・ラボ・ミクロン 川越テクノロジーセンター 埼玉県川越市芳野台1丁目103番54
設置機器	自家消費型太陽光発電システム 197.925kW(パネル455枚) パワーコンディショナー150kW(3台)
年間想定発電量	約195,000kWh
運用開始	2024年6月1日
導入効果	① 脱炭素社会実現に向けた取り組み ② 再生可能エネルギーの自家消費

竹田iPグループは、脱炭素社会の実現に貢献するため、今後も再生可能エネルギーの活用などの取り組みを推進してまいります。

#### ■本件に関するお問い合わせ

住所 : 〒466-0058 名古屋市昭和区白金一丁目11番10号  
部署 : サステナビリティ推進室 巻尾  
TEL : 052-871-6352  
E-mail : makio\_tadaomi@takedaip-hd.co.jp

#### ■竹田 i Pホールディングス株式会社について HP : <https://www.takedaip-hd.co.jp/>

社名には、長きにわたりご愛顧いただいております「竹田ブランド」を冠し、iPには「持続可能な社会に貢献すべく、溢れるほどの情熱 (passion) をもって革新 (innovation) しつづける」決意を込めました。